

平成27年 9月15日
在南アフリカ共和国日本国大使館

大使館からのお知らせ
～在留邦人カージャック事案（未遂）の発生について（注意喚起）～

1 発生日時

2015年9月14日（水）午後6時20分ころ

2 発生場所

サントン、クラメールヴル（CNR. MARLBOL DR. & KATHERINE ST）

3 状況

国内出張から戻り、O. R. Tambo 国際空港からタクシーにて自宅へ向かう途中、高速（N1）を出て最初の交差点（上記発生場所）に差し掛かった際に、いきなりシルバー色（アウディ、中古車、側面にテープ様のもので大きく補修されている）車両が、2台後方から当該タクシーを追い抜き、前方を塞ぐように停車すると、車内から2人組の男が飛び降り、同タクシーの方に駆け寄る素振りを見せた。運転手が即座にUターンし離脱できたが、当該現場から数キロ離れた付近で徘徊する同被疑車両を再び認めたため、サントンシティ内に所在するホテルにおいて警察の到着を待った。空港からの追尾強盗の可能性が考えられたこと、及び被疑者が付近をいまだ徘徊中であったことから、当該ホテルへの滞在を余儀なくされた。

4 防犯対策

（1）本件発生場所は同種カージャック事案の発生例が多数報告されており、今年2月及び4月にも在留邦人を被害者とする MARLBOL DR 直近でのカージャック事案（未遂）の被害例が報告されています。O. R. Tambo 国際空港からの帰路については、出来るだけN3から MARLBOL DR へのルートを避けるようにしてください（MARLBOL DR 南方は犯罪多発地域として知られるタウンシップ（ALEXANDRA）が所在します。）。

（2）カージャック事案のホットスポットの一つに、高速下直近の一般道交差点が挙げられます。交差点は停車することなく通過できるように速度調整を心掛けてください。

（3）特に、出張や旅行から帰宅する際には、O. R. Tambo 国際空港での車両乗車時に、複数人が乗車したまま待機している、あるいはこちらの様子を窺っている様な不審車両が後方にいないか、また、出発後から追尾してくる車両はないか、注意深く後方を確認するようにしてください。万が一、かかる状況を認めた場合には、ショッピングモール、ホテル、ガソリンスタンド等、安全が確保できる場所に一時的に退避し、躊躇することなく警察へ通報してください。

（4）空港出発時には、同空港ロータリーを少なくとも1廻周して、一時停車後に再出発するなどして、追尾車両の有無を確認してください。

（了）